



おむかしの大昔の暮らし たいけん 体験



うまくできるかなあ

ちまち 粘土が 乾いて しまっ からで す。 出来 上がった

縄文人が、料理をしたり食料を保存したりするときに使った土器作りに挑戦しました。見本に縄文時代に使われていた土器を見せてもらいましたが、底が分厚くてとても重かったです。うまくできるか不安でしたが、思い切って粘土をこねてみました。土器作りはスピードが命。なぜかという、のんびりしているとた

ドキドキの土器作り

豆記者

府川一芽以
牧野里香
村上亮



けっこう大変

削りにくいなあ

だなあ。 早速、 できた弓で矢を飛ばしてみ

竹を使って縄文時代の狩りに使った弓矢を作ってみました。まずは昔の人が使っていたのと同じような石器で竹を削りました。でも、ナイフを使えばすぐにできる作業も石器ではなかなかうまくいきません。弓矢一本作るのにも昔の人は大変だったんだなあ。

弓矢作りに挑戦!

豆記者

岩出純
岡崎由仁

べていた物を、煮て食べることができるようになりました。そうすることで食べ物はやわらかくなり、子どもや老人でも食べやすくなったのです。しかも、溶け出した汁も一緒に食べられるので、栄養もとやすくなりました。



じゃーん、完成です!

た土器を見て、早速何か料理をしたくなりました。でも、獲物はとってこなくてはならない、火はおこさなくてはならないという、何もかもが手作りの大昔の暮らしは、想像したよりもすごく大変そうだなあ。縄文人は、料理に土器を使うことによって、それまで生か、焼いて食

海や森の恵みいっぱい 五領ヶ台貝塚



たくさんの貝殻や土器などが見つかりました

縄文人は、食料が豊富にある森の近くで生活をしていました。五領ヶ台貝塚からは貝殻や土器のほかにも、いろいろな動物の骨や木の実をつぶす石皿などの道具が見つかっています。とった食料は、冷蔵庫なんてもちろんないので、土器の中で塩漬にして保存しました。縄文人は生きるために、これらの食料を大人も子どもも関係なくみんなで協力して集めたのです。

貝塚とは、昔の人のごみ捨て場のことです。そこから出てくるもので、昔の人が何を食べていたのかとか、どんな道具を使っていたのかとか、分かり、当時の暮らしの様子を想像することが出来ます。わたしたちが行った万田貝塚から

昔の暮らしの様子 分かる貝塚



さあ、うまく飛ぶかな?

ました。最初はうまくいかなかったけど、何度か練習するうちにだんだんと飛ぶようになり、最後は見事に命中しました。動かない的に当てるのもこんなに難しいのに、生きている動物に当てるなんて大昔の人はなんてすごいんだろう。

食べたものが何でもお店に行けば買える今と違って、食べ物を手に入れるのには苦労したんだろうなあ。きっと、昔の人は失敗を繰り返しながら、生きるために必要な知恵を学んだのでしょう。

は、ハマグリなどの貝殻がいっぱい出てきたそうです。え? 近くに海なんてないのに貝? 不思議に思っていると、学芸員の明石さんが、実はこの辺りは昔、海だったんだと教えてくれました。なんと、博物館のある場所も海だったそうです。びっくり! 地面を見渡すと、昔の道具のかけらや貝殻が見つかりました。それを手にとって昔の暮らしを想像してみました。



昔は海だったんですね

